

令和元年10月24日（木）
にぎたつ会館

本日、第34回四国高等学校教頭・副校長会研究協議会が、このように盛大に開催されますことを、開催県としまして大変ありがたく存じますとともに、遠路御来県いただきました皆様方を、心から歓迎申し上げます。

また、皆様方には、日頃から四国4県の連携を通じ、高校教育・特別支援教育の充実・発展のために御尽力いただいております、心から敬意を表する次第であります。

さて、御案内のとおり、Society5.0の到来に向けて、子供たち一人一人が新しい社会を生き抜くために必要な力を身に付けることが求められている中、令和4年度から実施される新高等学校学習指導要領では、子供たちに育む資質・能力を社会と共有する「社会に開かれた教育課程」の理念の下、各学校の教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントを推進することとされています。

本県教育委員会では、こうした状況を踏まえ、これまで、各学校における学校の魅力化と地域の活性化を結び付けた事業の実施や、学校の特色を生かし地域の要望を踏まえた新しい学科やコースの設置など、地域と連携した取組を通して、社会に開かれた、信頼される学校づくりに努めてきたところです。

さらに、今年度は、県立高校3校が、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け、市町、大学、産業界等との協働によるコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等に向けた探究的な学びを通して、新たな時代を地域から分厚く支えることのできる人材育成に向けた取組を行っているところです。

本日は、この後、「郷土を愛し、地域の未来を切り拓くたくましい人づくり」を主題として、講演や研究発表のほか、各県での先進的な取組等についての活発な情報交換が行われると伺っております。本日の会が四国地区の教育の大きな前進につながることを期待しております。

なお、御来県の機会に、道後の温泉で疲れをいやしていただきますとともに、サイクリングの聖地「しまなみ海道」や、本県の東部地域で開催中の地域振興イベント「えひめさんさん物語」にも足を伸ばしていただければ幸いに存じます。

終わりに、本協議会のますますの御発展と、皆様方の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。